

動けなくなることで、
見えてきたもの

秋田拠点センター アルヴェにて上映！

(JR秋田駅より徒歩3分)

9月11日(日)13時

料金：1,000円

主催：「風は生きよという」上映実行委員会

後援：秋田市・秋田市社会福祉協議会

当日タイムテーブル

13:00～	開場
13:30～14:55	開演・上映
14:55～15:05	休憩
15:05～16:00	監督・出演者によるトーク

9月11日(日)13時

風は生きよという

宍戸大裕 監督作品

呼吸器から吹く風に乗れ、つながりあう人と人との物語

監督・撮影・編集・ナレーション：宍戸大裕 音楽：末森樹 整音：米山靖 アニメーション：植田秀蔵 撮影協力：神吉貞輔 高橋橋二

宣伝写真：齋藤陽道 宣伝デザイン：玉利公節 助成：公益財団法人キリン福祉財団 企画・製作：全国自立生活センター協議会

配給：「風は生きよという」上映実行委員会 2015年/日本/81分/ドキュメンタリー

www.kazewaikiyotou.jp



文部科学省特別選定

少年、青年、成人、家庭向き

存在を否定され、死ぬ自由を突き付けられ、
それでもなお地域社会に分け入っていく勇敢な呼吸器ユーザーたち。
今までこんな風には彼らを見たことはなかった。
存在理由を獲得していく彼らの姿が逞しく眩しく映っていた。
世界を救うヒーロー・ヒロインに見えてきた。
川口有美子 【作家・日本 ALS 協会理事】

人工呼吸器は、呼吸を助ける道具です。
そこから吹いてくる風が、人と人とをめぐり合わせてくれます。

風は生きよという

追い風は、ときどき前からふいてくる。

もしもあなたが、病気や障害のために身体を動かさなくなったとしたら、どんな人生を想像しますか？

映画が映し出したのは、ふつうの街でふつうの生活を送る人びと。特別なことといえば、呼吸するための道具・人工呼吸器を使用していることくらい。淡々とその生活を映し出し、歩んできた人生を見つめた時、浮かんできたのは日常の尊さ。たくさんの支援が必要だからこそ、多くの人に出会い、自由に動くことができないからこそ、生きてあることに感動する。じんわりとところを揺する、人と人とが織りなす物語。

もしもあなたに、思うように身体を動かせない、そんな日が来た時は思い出してほしいのです。映画の中を駆け抜けていた、風の音を。その風に包まれた人と人とが、支えあいながら生きていたことを。



【お問合せ】「風は生きよという」上映実行委員会

〒192-0046 東京都八王子市明神町 4-11-11 シルクヒルズ大塚 1F (全国自立生活センター協議会内)

TEL:042-660-7747 FAX: 042-660-7746 Mail: kazewaikiyotou@gmail.com

2015年/日本/81分/ドキュメンタリー www.kazewaikiyotou.jp

【人工呼吸器とは？】

障害や病気により、肺を動かす筋力が弱い人たちの呼吸を補助する医療機器です。様々な種類があり、かかりつけの病院からレンタルされています。呼吸の回数や量、リズムなどを細かく設定することで自分に合った呼吸ができます。



「出来ないことがあっても、たくさんある中で、障害者が出来る大きい仕事ってというのは、外に出て人目について、人の意識の中に障害者の存在を、ちよっとでも根付かせていくこと」

秋田拠点センター アルヴェ 2F 多目的ホールにて上映！

- 日時 2016年9月11日(日)13時開場・13時半開演 *上映後、監督と出演者によるトークがあります。
- 会場 秋田拠点センター アルヴェ 2F 多目的ホール 秋田県秋田市東通仲町4-1(JR秋田駅直結 徒歩3分)
- 料金 1,000円 *字幕・音声ガイドつき。情報保障をご希望の方は事前に事務局までご連絡ください。

★お申し込みは以下を明記して上映実行委員会まで FAX: 042-660-7746 Mail: kazewaikiyotou@gmail.com 9月4日(日)締切

①お名前(ふりがな)②ご連絡先(TEL/FAX/メールのいずれか)③車いすご利用可否④介助者の有無、人数⑤情報保障のご希望/必要な補助